

議会だより No. 135

苫前郡苫前町字旭 37 番地の1

【令和6年第1回定例会】

一般会計	41億9467万5千円
特別会計	9億4537万円
公営企業会計	8億2020万5千円
総額	59億6025万円

【特別会計】

国民健康保険特別会計	4億4929万7千円
介護保険特別会計	4億2821万8千円
後期高齢者医療特別会計	6785万5千円

【公営企業会計】

簡易水道事業会計	3億4134万円
下水道事業会計	3億2515万5千円
風力発電事業会計	1億5371万円

令和6年度会計予算可決

令和6年第1回定例会は3月6日に招集され、会期を15日までの10日間と決め、開会初日に令和5年度一般会計及び各特別会計補正予算6件、条例2件、その他1件を可決した。

引き続き令和6年度一般会計並びに特別会計3件、公営企業会計3件、条例2件、その他1件の説明のあと、予算特別委員会に付託し、8日から13日までの間は議案審議のため休会とした。14日に再開、2名が一般質問を行ったあと、予算特別委員会にて付託された議案の審議を行った。令和6年度一般会計ほか各特別会計3件、公営企業会計3件、条例2件、その他1件、同意1件、発議1件を可決、町税条例の一部改正の専決処分を承認し、会期を1日残り14日閉会した。

【令和6年主な事業】

- ・ごみ収集車更新
- ・厚生クリニック検査機器更新事業
- ・公民館調査設計業務
- ・浄水場大規模改修
- ・歯科診療所診療機器購入
- ・町営住宅改善工事
- ・上平共同利用模範牧場
- ・町有林人工造林工事
- ・牛舎扉改修工事

【主な議案と質疑】

令和5年度一般会計補正予算

質 村本議員

民生費の暖房用燃料購入等給

付金の減額理由は。

答 島田住民生活課長

世帯数の減によるもの。

●空家等の適正な管理に関する
条例の全部改正

・空家等対策に関する特別措置
法の改正に伴い、所要の規定の
整備を行った。

●公園条例の一部改正

・古丹別町民広場を公園として
の位置づけを明確にした。



老朽化が進む浄水場

質 村本議員

既存の公園を含め、今後どう管理し、利用調査するのか。

答 本田商工労働観光課長

ニーズに合わせて、適正に管理をする。

● 町道路線の変更

・ 苦前西1条線及び夕陽ヶ丘線の起終点の変更。

● 国民健康保険税条例の一部改正

・ 安定した税制運営を図るため、保険税率の改正。

● 介護保険条例の一部改正

・ 第9期計画に基づき、令和6年度から8年度までの介護保険

料を定めた。

● 指定管理者の指定（若者交流センター）

・ 指定団体 苦前商業高校後援会

・ 指定期間 令和6年4月1日から令和10年3月31日

● 副町長の選任同意

成川 敬（旭）

任期 令和6年4月1日から令和10年3月31日

● 専決処分報告と承認

● 町税条例の一部改正

第1回議会臨時会

1月26日

● 手数料条例の一部改正

・ 戸籍（除籍）電子証明書提供用識別符号の発行

戸籍電子証明書提供用符号発行手数料 1件400円

除籍電子証明書提供用符号発行手数料 1件700円

● 一般会計補正予算

追加予算 1169万7千円

総額 48億1946万9千円

医療対策特別委員会

2月26日

● 地域医療対策

・ 苦前厚生クリニック検査機器等更新補助

・ 診療室系統エアコンの更新

工事費 1241万5千円

・ 診断用X線装置更新

購入費 979万円

・ 電話交換機更新

工事費 110万円

● 古丹別歯科診療所診療機器更新

新・改修工事

・ 診療ユニット更新

・ 古丹別歯科診療所改修工事

・ 配水のサビ状汚れ・手洗い場の吐出力改善のため

予算額 168万8千円

【令和5年度補正予算】

一般会計
補正額 1億8440万3千円 減額
総額 46億3506万6千円

特別会計
国民健康保険特別会計
補正額 409万8千円 減額
総額 4億8012万6千円

介護保険特別会計
補正額 1346万5千円 減額
総額 4億3683万4千円

後期高齢者医療特別会計
補正額 389万6千円 減額
総額 6136万2千円

簡易水道事業特別会計
補正額 102万9千円 減額
総額 1億6492万9千円

下水道事業特別会計
補正額 5345万8千円 減額
総額 3億1076万5千円

風力発電事業特別会計
補正額 3億2490万8千円 追加
総額 4億3560万6千円

一般質問

Q 町内で働く外国人労働者への支援対策は

A 官民協働での分科会を設置、外国人の永住に繋げていける支援策について協議検討を進める

質問

外国人労働者への支援対策について

人口減少・少子高齢化・人手不足とこれらの問題は、本町のみならず多くの自治体が直面している。この中で人手不足の解消に、外国人労働者が大きな役割を果たしている。

現在、町内には多くの外国人が就労しているが、特定技能外国人2号の要件拡大により、高い技能を持つ外国人労働者が長く働ける法的環境が整備される一方で、企業が外国人労働者を選ぶ側から、企業が選ばれる側が変わると考えられる。

長期就労によるメリットは、事業者にも本町においても大きく、さらに家族帯同や永住への可能性も広がる。外国人労働者が苦前町で生活しやすいよう



伊藤議員

に、生活や労働の環境、さらにメンタルヘルスの対策が必要であり、町民との交流が有効と考えるが、事業者や住民の協力が必要。

外国人労働者が、苦前町に来て良かった・このまま苦前町に永住したいと思えるように、まずは町が主導して支援策を企画するべきと思うが、現在の支援状況と今後の予定を伺う。



答弁

福士町長

本年2月末現在の外国人登録者は73名で、技能実習生51名、特定技能者16名、技能及び教育資格者3名の合計70名が、技能実習等の在留資格において、人手不足対策に貢献。他に日本人との既婚者3名となっている。

産業別では、ホタテ養殖業を中心とする漁業47名、水産加工業16名、介護事業4名、建設

業2名、教育分野1名。

国籍別では、インドネシア36名、ベトナム21名、ミャンマー5名、フィリピン3名、中国2名、バングラディッシュ2名、アメリカ1名の7カ国からの受入。

現在の対応では、40歳未満の対象の若年者雇用促進助成金や、定住促進空家活用助成金、一次産業就労支援共同住宅建設補助金で助成しているが、水産加工業や介護事業なども含め、見直しを検討しなければならぬと考えている。

町内における産業経済団体等が労働力確保に向けた対策を協議する「苦前町雇用対策協議会」を設立しており、2月19日には、各産業団体における現在の雇用状況の報告や、外国人技能実習制度等における政府方針について情報提供し、今後の本町における外国人の受入環境のあり方などについて、協議を継続していくこととした。外国人の受入れにおいて住宅の確保や、日本語教育の必要性、また、交流機会の創出など、今後、協議会において具体的な支援を考

たところである。

生活環境や医療、福祉、教育なども含め、外国人が一町民として等しく生活ができ、長期滞在ができる環境づくりに、行政内部での協議はもとより、雇用対策協議会において、外国人の就労・生活・環境を協議する官民協働での分科会を設置し、外国人の永住に繋げていける支援策について協議検討を進める。



外国人研修生も楽しく参加した凧揚げ大会

一般質問

Q 公営住宅入居基準と今後の農地利用の在り方と再生可能エネルギーは

A 法の定められた基準に応じている
農地の保全に向け、国の新たな制度及び交付金などの拡充を強く要望
送電網の整備と増強を強く要望



質 問 村本議員

公営住宅の入居基準等は

公営住宅を申請しても所得等の基準により、入居出来ないという聞か、判断基準は。

戸建て、集合住宅、道営住宅、さらにオール電化、灯油対応、車庫在り、駐車スペースのみ等の違いにより費用負担も変わりますが、これらに起因する不公平感の意見等はないか。

答 弁 福士町長

町営住宅には、低所得者向けの公営住宅と、中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅・道営住宅がある。

どちらも国により収入基準が定められ、公営住宅法の上限額の範囲内において、地域実情に応じて各自自治体が条例により運営管理をしている。

本町では、北海道に準じて収額となっており、農業者や関係入基準額を定め、住宅に困窮する低所得者への住宅供給をしてる。安定的な生産額を維持している。と認識している。

特定公共賃貸住宅は、単身勤労者向けと世帯向けの住宅も平成9年度から町民ニーズに込え、供給している。所得面での入居条件の緩和や公営住宅法改正に向けて、留萌開発期成会の中央要請で国土交通省住宅局長へ要望をしてきた。

不公平感についての意見は届いていない。

質 問 村本議員

今後の農地利用の在り方は

昨今の農家数や就労者の減少を見ると、すぐにでも農地の受け手がなくなることが予測される。今後、苦前町の農地3500ヘクタールあまりをどのように利用していくのか再検討する時が来ていると思うが所見を伺う。

答 弁 福士町長

昨年の農畜産物の総生産額は、約31億3200万円であり、令和元年以来30億を超える生産

中山間地域直接支払交付金や農地を維持するための多面的機能支払交付金を交付することで、農地保全に活用していただいている。

農地は貴重な資源であるが、自治体として直接的な指示を出す権限はなく、農地利用の方法について明確にすることは、現状不可能である。

農業生産の基盤である農地の保全に向けては、国の新たな制度及び交付金などの拡充について、引き続き強く要望する。

質 問 村本議員

再生可能エネルギー今後は

さらなる風車に向けて、風況調査も進められているが、送電線整備の必要性が唱えられている。バイオマスエネルギーは、家畜排泄物や農地から生産される炭水化物作物も利用出来るため、地場産業とも結びついた新たな産業の可能性もあると思われるが、再生可能エネルギーの課題として取り上げる考えはないか。

農地法や農業振興地域の整備に関する法律に基づく、農地の確保及び保全のため、農用地の区域を明確化し、農業以外に使用されることが無いよう制限するため苦前町農業振興地域整備計画として定めている。

条件不利地を補正するための

今年1月にはFIP制度に移
行し、相對契約により北海道ガ
ス株式会社へ売電することで、
4月から、町営風車で発電した
電気を役場庁舎・公民館・ふわつ
と・各小中学校へと供給する予
定である。今後は、農業・漁業
をはじめとした産業分野におい
てもこの枠組みを広げ、地球環
境を守るための脱炭素社会の実
現に向け、風力やブルーカーボ
ン、そして森林からのグリーン
カーボンも含め、再生可能エネ
ルギーの地産地消の取組を推進
する。

送電網の整備・増強が必要不
可欠であり、引き続き、留萌地
域総合開発期成会など様々な場
面で、関係機関に強く要請して
いく。

バイオマスエネルギーについ
ては、排出量及び政策的効果の
観点からも、非常に難しい。

予算特別委員会

令和6年3月14日

【一般会計予算】

委員長 伊藤 まち子

副委員長 早川 日出利

質 村本委員

J A るもい販路拡大P R I
ベント負担金で人的協力はあ
るのか。また同類のイベント
はあるのか。

答 宮野農林水産課長

人的協力はしている。同類
するものは、留萌振興局の
もいアグリブランド共創推進
事業がある。

答 加賀谷総合政策室長

ふるさと苦前地場産品振興
プロジェクトが同類である。

質 村本委員

有害鳥獣駆除業務委託料に
ヒグマは含まれるのか。北海
道の対応は。

答 宮野農林水産課長

熊は管理・監視で日給1万
円の報酬を支払している。
北海道の対応としては春熊
駆除があるが、当町では対応
できない。

質 早川委員

有害鳥獣駆除によりアライ
グマは361頭、エゾシカは
433頭、クマ2頭と年々増
加しているが、対策事業費が
増額になっていない理由は。

答 宮野農林水産課長

アライグマ、エゾシカ共に
年々増加している。事業費に

ついては交付金額と考えて
ほしい。

質 早川委員

電牧柵の更新・新設は今年
度も継続事業があるのか。

答 宮野農林水産課長

補正予算対応のため国から
の通知があり次第対応したい。

質 早川委員

ローカルベンチャー創出業
務委託料、ふるさと苦前地場
産品振興プロジェクト業務委
託料、地域おこし協力隊募集
支援業務委託料の内容は。

答 加賀谷総合政策室長

前段の2委託料はデジタル
田園都市国家構想補助金、後
段の委託料は総務省の交付金
で実施するもので、いかに苦
前町に来ていただくかという
事業内容である。

質 間宮委員

ここにこたくシー委託料と
補助金の違いは。

答 横野保健福祉課長

委託料はオペレーター運
手の委託を支払い、補助金は
運賃の差額の支払いである。

質 間宮委員

夜の街のにぎわいのため
に、運行時間の延長を金土曜
日だけでもできないか。

答 加賀谷総合政策室長

特急はぼろ号の最終苦前着が
9時なので、9時30分まで営業
してもらっている。ドライバー
の労働時間規制が厳しくなり、
事業運行体制が難しい。公共交
通全般について協議をしていく。

質 磯崎委員

苦前漁港蓄養実証業務委託料
に流量計測は含まれるのか。

答 宮野農林水産課長

委託業務の中で調整する。

質 田沢委員

とままえ温泉ふわつと、ななか
まどの館のクリーニング業者は。
答 本田商工労働観光課長

大量な物は留萌市、個別や小
さな物は羽幌町のクリーニング
店である。

質 田沢委員

現在、古丹別地区にはクリー
ニング店が無く不便を来してい
る。行政として何らかの対応が
出来ないか。

答 本田商工労働観光課長

町内の商店街で、協議されて
いると伺っている。検討の推移
を見守りたい。

質 田沢委員

ふるさと応援寄附金予算計上額の根拠とイベントの内容は。

答 加賀谷総合政策室長

金額は目標値として計上した。札幌と東京でのイベントを計画し、集客が見込める場所で7月前半に開催したいと考えている。予算的に可能であれば関西圏や友好町の桑名市でのイベントも考えたい。

質 早川委員

今年度は保健指導車・給食運搬車・トラック・ごみ収集車・林業振興車両と5台の車両更新があるが、それぞれの担当課で入札・執行しているのか。また町内には整備事業所は2社しかないが、2社の入札によって導入しているのか。

答 成川総務財政課長

要求、見積もりは担当課で行っている。入札は3者以上指名することとなっているため町外業者も含む。

質 早川委員

古丹別緑ヶ丘公園・町民広場は管理業務委託があるが、川添団地内の遊具設置場所の管理はどうなっているのか。

答 星建設課長

基本は団地内の管理人が行うが町職員とも連携して維持管理にあたる。

質 早川委員

苫前町キャラクター、くまどとまおのグッズは道の駅物販棟にて販売しているが、キャラクターの権利等は発生していないのか。

答 本田商工労働観光課長

申請を受け許可を得ることで苫前町のPRしていただいているため権利は発生していない。

質 早川委員

省エネ設備等導入促進補助金について、まだ認知度が低いため、周知方法も含めて継続・検討していただきたい。

答 星建設課長

今後也需要がある限り、継続して対応する。

質 早川委員

保健師は昨年同様、臨時にて対応の予定であるが、正職員の採用はあるのか。現状と今後の予定について伺う。

答 横野保健福祉課長

現在、正職員3名、臨時職員1名体制だが、継続して1名募集して人員の確保に努める。

【総括質疑】

質 阿部委員

人口減少により、公共交通・医療・福祉においても影響すると考えられる。形態を変えなければいけない場合があるのではないかと。

今年度の苫前商業高等学校では、17名の出願者があった。

先日、同校のテレビ放送があったが、引きこもりや不登校の子に、大きく影響したのではないかと。あの放送は、偶然なのか仕掛けてやったものなのか。

何れにしろ、行政も人口減少の中で、町が生き抜く為に何でもつかんで行くんだ、できるだけ仕掛けて行くんだという気持ちでやっていただきたい。

答 開発教育長

高校対策では、昨年と今年の2回テレビ放送されたが、校長の人脈により制作に繋がりが、放送された。学校の魅力化、地域学、子どもたちの発想により実現させていく姿、地域を上げて子どもたちを育て安心して生活できる環境を保護者にも見てもらい、子どもの成長を再発見して感動

している姿が放映された。

来て良かったと思ってもらえるように、今後とも取り組んでいきたい。

答 富士町長

中長期的に人口減少、少子高齢化は避けられないが、少しでも食い止めなければいけない。

予算は何かが必要で、何が不要なのか。変革する社会に沿って、一人でも多くの人が入って来て生活ができる予算を組み合わせる。いかに苫前をPRし、町が活性化して、高齢者・子どもたちの幸せを維持し、人口に合わせた行政をするかが、最大の課題である。



現状調査 長寿命化計画策定

委員会レポート

総務産業
常任委員会

2月26日
27日

●第9期苦前町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）

・団塊の世代が75歳以上となる2025年・生産年齢人口の急減と、85歳以上人口の増加が見込まれる2040年を見据えた施策の推進。

●苦前町障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（案）

・障がいの有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す。

●苦前町商工会事業

・商工会運営事業

補助額 1186万1千円

・プレミアム地域振興券発行事業

補助額 1664万2千円

・中小・小規模事業者持続的

発展事業

補助額 100万円

●観光施設の改修工事・備品購入

・町内の観光施設は耐用年数を超える設備等の経年劣化や破損により機能低下や一部停止が余儀なくされており、安全対策も含め、改修工事と備品更新を行う。

・夕陽ヶ丘オートキャンプ場改修工事

工事費 144万1千円

・夕陽ヶ丘オートキャンプ場フェンス復旧工事

工事費 73万7千円

・夕陽ヶ丘未来港公園改修工事

工事費 246万4千円

・さわやかトイレ改修工事

工事費 114万4千円

・とままえ温泉井フェンス復旧工事

工事費 141万9千円

・ななかまどの館備品購入

購入費 137万2千円

●北留萌消防組合予算

1億5494万7千円

●北留萌消防組合消防署古

丹別支署庁舎建設工事

・現消防庁舎は建設から47年が経過、旧耐震基準建物であることから令和3年度に耐

震診断を実施し、耐震性が無いことが判明。

耐震補強・大規模改修の検討をしたが、新築同等の費用が必要となることから移転建替が望ましいとの結果になった。

工事費 10億3069万8千円



古丹別支署庁舎 立替予定

●庁内ネットワーク強靱化環境構築事業

・国の自治体DX推進計画において、行政サービス等のデジタル技術の活用や基幹業務システムの標準化・共通化を推進しており、当町においてもセキュリティ脅威に対して頑強なネットワーク体制を構築する。

予定事業費（5か年） 7008万5千円

●会計年度任用職員への勤勉手当の支給

・令和6年度からパートタイム会計年度任用職員に勤勉手当の支給が法律上可能となり、常勤職員との均衝を踏まえ、パートタイム会計年度任用職員に勤勉手当の支給をする。

所要額 1090万円

●学校給食の無償化

・子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすいまちづくりのため令和6年度以降も引き続き学校給食を無償化する。

所要額 1084万9千円

交付金 772万1千円

一般財源 312万8千円

● 苫前商業高等学校入試出願状況及び生徒募集対策・魅力化事業

・入試出願状況 17名
 ・苫前商業高等学校後援会に対する補助

予算額 1007万6千円

● 苫前町若者交流センター指定管理者の指定について

・北海道苫前商業高等学校後援会が管理業務を受託しており、公募を経ずに指定管理者の候補として選定手続を行う。

指定管理料 令和6年4月1日～令和10年3月31日
 1億921万6千円

・猛暑対策としてA棟・B棟の食堂にエアコンを設置

予算額 71万7千円

● 学習支援員配置事業

・学習支援員を配置することによって教員の負担軽減を図る

予算 509万4千円

● 社会教育施設の改修及び備品購入

・苫前町公民館自動制御機器修繕予算額 98万9千円

・苫前町公民館調査設計業務委託予算額 434万5千円

・資料館費

古代の里住居(チセ)解体工事業算額 58万3千円

・保健体育総務費
 スポーツ施設管理用トラック購入
 予算額 632万4千円

・体育施設費
 B&G海洋センター加温機械室鋼製建具取替工事

予算額 243万1千円

● 下水道事業

・下水道汚泥の有効利用検討業務委託料(継続)

事業費 1300万円
 交付金 650万円

・下水道ストックマネジメント実施計画策定業務委託料

事業費 720万円
 交付金 360万円

● 公営企業会計予算

・令和6年4月から公営企業会計予算に移行する

・簡易水道事業
 ・下水道事業
 ・風力発電事業

● 苫前町空家等の適切な管理に関する条例の全部改正

・不良空家について市町村が管理不全空家として指定、指導、勧告できるように裁量が拡大。

● 町道路線の変更

・町道及び国道の改良工事に伴い、国道232号線交差点から57m区間を町道苫前西1条線から、町道夕陽ヶ丘線に変更する。

● 道路除排雪委託業務に係る予算補正

・1月末における最深積雪深は古丹別観測所で前年度と比較し5割以上も増加しているため、委託費の増額補正を行う。

補正額 2102万1千円

● 令和6年度住民生活課所管主要事業

・ごみステーション設置工事
 鉄製のごみステーション古丹別6基、東川2基を更新予定

予算額 3729千円

・ごみ収集車両の購入(小型3t4WD車)

予算額 1436万7千円
 *年度内納車が困難なため繰越明許費で設定

・汚水処理施設共同整備事業(MICS)

共同整備事業負担金 244万5千円

維持管理負担金 1914万4千円

・羽幌町外2町村衛生施設組合
 予算概要

苫前町負担額6599万6千円
 ● 国民健康保険税条例の一部改正基礎課税額

所得割 6.1%
 (対前年比0.6%増)

均等割 3万3千円
 (対前年比5千円減)

平等割(特定世帯以外) 2万8千円
 (対前年比2千円減)

後期高齢者支援金等課税額
 所得割 1.9%

(対前年比0.4%増)
 均等割 9千円
 (対前年比1千円減)

平等割(特定世帯以外) 8千円(対前年比1千円減)

介護納付金課税額
 所得割 1.4%
 (対前年比0.2%増)

均等割 1万2千円
 (対前年比1千円減)

平等割 6千円
 (対前年比2千円減)

● 町営夕陽ヶ丘風力発電所から町公共施設等への電力供給の開始

令和6年1月より町営風力発電所をFIP制度へ移行し、北海道ガス株式会社と相对契約を締結の上、同社へ売電すること

で、再生可能エネルギー由来である環境価値をそのままに、町内へ供給するという「再エネの地産地消」を実現する。

役場庁舎、公民館、ふわっと、町内各小中学校へ供給を予定しており、6施設で年間約890kgの温室効果ガスの削減効果が見込める。

●総合政策室所管主要事業
 ・遠別民放ラジオ中継局運営協議会負担金
 令和5年度補正額 236万9千円増額

令和6年度予算額 93万2千円
 ・地域公共交通対策
 令和6年度生活路線バス等維持費補助金（6路線） 2366万2千円

苫前町地域交通活性化協議会負担金 702万円

●ふるさと応援寄附金
 寄附状況（令和6年1月現在）

件数 1561件
 寄附額 2728万1千円

●中山間地域集落協定図作成委託業務

・年度内に業務が完了しないことが見込まれるため繰越しをする。

委託費用 473万円（補正）

●上平共同利用模範牧場整備事業
 ・事業名 道営草地畜産基盤整備事業（草地整備型） 公共牧場整備型苫前中北部地区

・事業内容 草地更新、育成舎整備に向けた実施事業の計画策定
 ・事業期間 令和6年度～7年度
 ・事業対象者 上平共同利用模範牧場及び町内酪農家
 事業費 1320万円

（町負担額160万円）
 ・令和6年度事業内容 実施事業に向けた調査計画策定
 ・事業費 1200万円
 （町負担額100万円）



経年劣化した牧場施設

●土地改良区施設整備事業
 ・西古丹別揚水機場地区
 事業名 道営水利施設等保全高度化事業西古丹別揚水機場地区

事業内容 事業計画策定
 事業期間 令和6年度
 事業費 500万円
 （町負担250万円）
 ・小川地区

事業名 団体営農業水路等長寿命化防災減災事業小川地区
 事業内容 幹線用水路（V600型トラフ）
 改修L1120m
 事業期間 令和6年度～7年度
 事業費 1000万円
 （町負担130万円）

令和6年度 100万円
 令和7年度 900万円
 ●森林環境譲与税事業
 ・令和6年度交付状況 1157万4千円

●町有林人工造林工事
 面積 2ヘクタール

樹種 ヤチダモ3330本
 食害防止対策 シェルター設置
 予算額 828万3千円

●苫前漁港蓄養実証事業
 ホタテ養殖ふ頭（第3港区）

の静穏水域を有効活用し、ウニ、タコの蓄養試験及びウニ飼料用

コンブの養殖試験を実施する。
 予算額 379万5千円
 ●苫前漁港水産生物生息調査
 調査時期 7月～8月

調査内容 調査範囲内の沖方向に5側線を設定し、スキューバ潜水で側線上の生物個体採取し重量や生殖巣等を計測。
 予算額 347万6千円

●令和6年度土木事業
 ・町道除排雪業務委託（継続）
 委託料1億3669万7千円
 ・町道横断側溝設置工事（継続）
 工事費 418万円

興津羽幌界線 2か所
 力屋三毛別線 3か所
 上平住吉沢線 1か所
 ・歩道補修工事
 苫前東1条線歩道補修工事（新規）
 工事費 424万6千円
 延長 111m

古丹別北中央環線歩道補修工事（新規）
 工事費 323万4千円
 延長 60m

道路照明設置工事（継続）
 工事費 652万3千円
 旭長島線、苫前2丁目線、古丹別山手通線、古丹別神社下仲通線 建替各1基

長島5線道路線 建替2基

・交通安全施設修繕工事(新規)

工事費 496万1千円

三溪滝下線 延長396m

ガードケーブル再設置、中間

支柱再設置

・大型標識修繕工事(新規)

工事費 467万5千円

標識修繕 18基

・町道修繕工事

・苦前高台2号線修繕工事(新規)

工事費 374万円

延長 70m

長島5線道路線修繕工事(新規)

工事費 390万5千円

延長 45m

古丹別西2条線修繕工事(新規)

工事費 257万4千円

交差点部 5か所

・苦前神社通線側溝補修工事

(新規)

工事費 335万5千円

延長 50m

・道路立木撤去工事(新規)

工事費 265万1千円

町道丸山線

・旭3号線調査測量設計業務委

託(新規)

委託料 383万9千円

延長 130m

・旭長島線歩道整備工事(継続)

工事費 7000万円

交付金 4620万円

延長 250m

・北香川1号線改良工事(新規)

工事費 480万7千円

延長 270m

・橋りよう長寿命化総点検委託

業務(継続)

工事費 1480万円

橋りよう数 22橋(3巡目)

・豊浦長島線(共成橋)橋りよ

う修繕工事(継続)

工事費 81万4千円

・三溪松下沢線(幸金橋)橋りよ

う修繕工事(新規)

工事費 715万円

・春雪橋外1橋りよう修繕工事

(新規)

工事費 478万5千円

・災害復旧測量設計委託業務

(継続)

委託料 334万4千円

河川測量設計 50m

道路測量設計 50m

●令和6年度建築事業

・北斗団地4号棟(外壁・防水

改修)

・川添団地イチゴ棟(屋根改修)

・商工団地(3棟6戸)屋根・

外壁改修及び耐力度調査

工事費(3件) 7490万円

委託料 54万円

・北斗団地4号棟駐車場棟

(駐車場屋根葺替)

事業費 259万6千円

・北斗団地4号棟(電気室鋼製

建具取替)

事業費 206万8千円

●令和6年度水道事業

・浄水場耐震化更新

事業費 5282万2千円

・浄水場大規模改修

全体事業費1億5000万円

令和6年度 6000万円

令和7年度 4500万円

令和8年度 4500万円



北斗団地4号棟

編集後記

新年度が始まりました。新たな出会いもあれば別れもあり、新たな事に挑戦する人もいるかと思えます。

失敗してもいいのです。できない理由を言わないで、とにかくやってみましょう。

私も議員になり、1年が経ちました。この1年でますます生活がきつくなっていくのを感じています。2024年の物流問題も出てきます。そして毎度のことのように増税!増税!来年はもっと大変な年になるとある専門家の方がおっしゃっていました。色々と厳しい世の中になっていきますが、町民皆さんで意見を出し合い、少しでも良い方向にしていかなければこの町には未来がないと思えます。そのためにお近くの役場職員や議員に色々質問や意見をお申し付けください。

いつまでも暮らしていけるまち苦前のために。

文責 服部大輔